



## ノグルミ（野胡桃）

<クルミ科・ノグルミ属>

落葉の高木~小高木。日当たりの良い林縁や谷筋を好み、本州の東海地方以西~九州の暖温帯に自生する。葉は互生し、奇数羽状複葉で長さ 20~35 ㎝、小葉は長さ 5~11 ㎝で 5~7 対付き先は鎌状に曲がり尖る。花は 6 月ごろ新枝の先にクリの花を上向きに立たせたような雌花序、雄花序を付ける。実は堅果で果穂は 2~3 ㎝の細長い卵型。果穂は秋にはヤシャブシの果穂の様に褐色になる。別名ノブノキ。・・・▼神ノ倉山公園での例会。神ノ倉自慢の紅葉にはまだ到らないが、行く手には輝くススキ、深紅のヒガンバナ、うす紫のノコンギク。稲穂が黄金色の穂を垂れ、優しい里山の景色がどこまでも広がる。▼谷から吹き上げる心地よい風を受け、景観保持のために伐ったノグルミの高木。葉はまだ青々と茂り、枝先には種を落とした果穂がツンと空を見上げて付いていた。初秋から深まりゆく秋へと季節は移ろう。

~安佐北区白木町神ノ倉山公園 2020・9月~